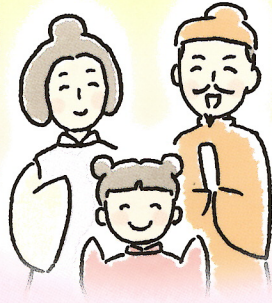


# 中将姫と 當麻羅 曼荼羅

私は今から1300年ほど前の

奈良時代、

右大臣・藤原豊成公の娘として  
奈良の都に生まれ、



両親に大切に育てられ、  
何不自由なく  
暮らしていました。

ところが幼い時に母を  
亡くしてから一転、

私より美しく優れている  
なんて忌々しい娘!



継母にうとまれ、  
厳しい日々が始まりました。



今回の展覧会で  
展示されている  
「當麻羅曼荼羅(真享本)」  
の元となった、

みなさま  
こんにちは

国宝「綴織當麻  
羅曼荼羅」は  
私の祈りによって  
完成しました

展覧会は奈良国立博物館で  
8/28日まで開催中!

中将姫

ある日、  
継母から命令を受けた家来に  
殺されそうになりますが、



やっぱり  
殺せない!!

と思い直した  
家来の図らいで  
一命を取り留め、  
ひばり山で暮らします。

これも運命  
南無阿弥  
陀仏...

数年後、  
偶然山で再会した  
父から、



都に戻り  
ともに  
暮らそう

と言われるも、私は  
仏様にお仕える道へ進むことを  
すでに心に決めていました。



1000巻の写経を  
完成させます。



仏様にお仕える道に  
進んだ私は  
『称赞浄土經』を  
書き写す、

そして當麻寺で出家しました。



當麻羅曼荼羅(真享本)

ある日、  
阿弥陀さまの姿が  
見たいのなら、



をん  
糸さん  
たくなさい  
集め

と不思議な尼から  
言われた私は、  
蓮の茎から  
糸を紡ぎま  
した。



そして  
その糸によって  
一晩にして  
曼荼羅が織り  
表されたのです。

「綴織當麻羅曼荼羅」  
の完成

29歳で  
極楽浄土に往生されました。



尼は自分が阿弥陀如来の  
化身だと告げて  
去っていきました。  
その後も中将姫は  
仏への祈りを  
かかすことなく、

私亡き後、1250年ほどの  
年月が経ちましたが、  
「綴織當麻羅曼荼羅」は  
當麻寺で現在も大切に  
保管されています。



私の祈りを伝える  
「當麻羅曼荼羅」  
ぜひ会場でご覧に  
なってください